

【児童へのお話】

立春を過ぎ、明日からは暦でいう「雨水（うすい）」となります。雨の冷たさが和らぎ、草木が芽吹いてくる時期になったということです。皆さんが頑張ってきたこの1年の成果が出てくる時期でもあります。学習、生活のまとめをしっかりと進めてください。

さて今日は、「人間と動物の違い」について、お話しします。私たち人間（ヒト）と、動物の違いは何だと思えますか。いくつもあるので、少し考えてみてください。

まずは、運動能力や体のつくりの違いがあります。同じくらいの大きさの身体をもっているとすると、人間には「持久力」が抜群にあります。動物にマラソンはできません。それから、二足歩行の体をもっているため、「手に物を持って運ぶ」ことや「道具を持って戦う」ことができます。手に武器を持って戦う動物はいません。それから、狩りなどで使う、「物を遠くまで投げる力」がとても高いです。動物は北口榛花選手のように、やりを遠くまで投げることはできません。

まだまだありますよ。あとは、人間が「毒に強い」ことや「料理ができる」ことが挙げられます。私たちが普段食べている玉ねぎやニンニクは、人間には栄養になりますが、多くの動物にとっては毒ですので、ペットにあげないように注意してください。それらを含め、人間は食材を料理して食べることができるようになったことで、食べ物の消化に使うエネルギーが減り、結果、人間の一日の活動時間は、他の動物よりもとても長くなり、発展につながったそうです。料理って、すごいですね。

そして、体のつくり以上に大きな人間と動物の違いは、「言葉や身振りを使った高度なコミュニケーションができる」ことです。動物にも、大きな音や金切り声で何かを知らせるような独特のコミュニケーションの取り方はありますが、人間のように高度なものはできません。私たち人間は、無駄に大きな音を出したり、奇声を発したり、むやみに誰かを攻撃する必要が全くない、高度なコミュニケーションの能力をもっているんですね。これらが、人間と動物の違いです。

校長先生の大好きな番町の子には、自分は立派な人間なんだという自覚を高め、お友だちと優しく穏やかなコミュニケーションをとって、仲良しをたくさん増やせる、ステキな人になって欲しいと思っています。今年度、残り25日間の学校生活を、楽しく過ごしていきましょう。

今日は、「人間と動物の違い」についてお話ししました。

【本講話について】

先週土曜日は、土曜授業公開（道徳授業地区公開講座）に多くの保護者の皆さまに参観いただき、ありがとうございました。子どもたちが意欲的に学習する姿をご覧いただけたことと思います。また、意見交換会では保護者の皆さまの活発な話し合いがなされ、思いやりの心について考える、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。

人間を人間たらしめている「高度なコミュニケーション」について、子どもたちに話しました。人との良好な関わりを大切に、残り25日間の教育活動を進めていきます。そして、道徳心をより高め、他者を慮ることができる子どもを育成できるよう、今後とも保護者、地域の皆様のご協力をいただけると幸いです。